

生涯学習 教える楽しさ、学ぶよろこび 上田自由塾 だよい

平成26年7月

第11号

平成26年度 第10回記念開塾式



平成26年4月12日に一つの節目として第10回記念開塾式が挙行されました。母袋市長はじめ草創の時、ご尽力いただいた関係者のご参加をいただき、和やかに10年前をしのびながら開催されました。また、10年継続講師・受講生の表彰もあり、式典終了後は東急インにて祝宴が行われました。



市民に支えられ、受け入れられた “誰でも先生・誰でも塾生”のスローガン

祝辞

上田市長 母袋 創一様

平成26年度生涯学習上田自由塾の開塾、誠におめでとうございます。10年の節目を今回迎えられ、私も皆様に挨拶できること大変うれしく思います。当初この塾が、どのように進化・成長していくのか見つめておりました。なによりもこの新しいシステムが講師の先生、塾生の皆さんに受け入れられたということだと思います。“だれでも先生、だれでも塾生”というこのスローガンのもとに進められたことの意義が大きかったと思います。生涯学習というと、教育委員会が管轄となっていますが、市長部局としても、学習を広くとらえると、教育委員会だけに任せる状況にないと思っています。さまざまな会議を持ちながら、市長部局としても支援をしていきたいと思っています。

生涯学習の基本構想の内容が充実していくことは、私どもの願いでもあります。多くの学びの成果を発展させ、人と人が結びつき、コミュニティとコミュニティがつながっていくという、“自立したい”“いつまでも健康で豊かな人生”こういったものを創造して頂くための努力をしていきたいと思っています。本年10月、いよいよ交流文化芸術センターと市立美術館がオープンとなります。名称は公募の結果“サントミューゼ”と決まりました。人づくり町づくりにも寄与する施設となるよう、挑戦していきたいと思っています。そのためには、多くの方にご利用頂きながら、サポーターとしてご登録頂いて、担って頂くこともあるかと思っています。最後になりますが、生涯学習上田自由塾のますますのご発展とみなさまのご健勝を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

日本一の生涯学習の街上田の実現を願う

祝辞

宮下 省二様

本日は第 10 回という記念の開塾式おめでとうございます。平成 12 年、中央公民館の公民館運営審議会の会長を、山口塾長ご就任頂きました。あらゆる視点から内容を変えていこうという思いを、一緒に実現していきたいと、



取り組んだのが最初の出会いです。まず公民館運営審議会の改革をしようと、従来 1 時間の会議を 3 時間かけて審議するという取り組み、また小学校や中学校へ外部指導者の派遣で、東小学校で外部指導者 12 名が集められ、活動が始まりました。

静岡県の清水市は、行政主導型の事業から、市民主体の活動への転換ということで、生涯学習日本一を掲げていました。この生涯学習の取り組みについて、母袋市長が一番ご理解がありました。生涯学習の“学”を“楽”としたのも市長です。市民主導型の事業というのは、言うのは容易いですが、非常に困難でした。一つ一つ階段を上がりながら、塾生の数が 1000 人を超えたときは万歳をしました。当時は N o 1 が静岡県清水市、N o 2 の宇都宮が 2000 を超える塾生がいました。今は実質的には N o 2 となると思います。広く学びながら、多くの方々と出会う中で、素晴らしい生き方を見つけて頂き、3000 人を超える塾生が集まる日本一の生涯学習の街上田を実現して頂ければと思います。上田の地域の活性化がより進みますよう、祝辞とさせていただきます。

10 年の経過報告

実行委員長 金井 善男

平成 12 年以来社会教育委員会及び教育委員会相互のご提案の中、平成 13 年 10 月 2 日に市民が組織する生涯学習推進懇話会の設置に対する提言がなされ、平成 15 年 5 月 6



日教育委員会内に広く市民の意見を求め、総合的かつ効果的な生涯学習の推進を図るために、自由な意見交換、研究協議ができる会として、「生涯学

習推進懇話会」を設置することになり、平成 15 年 7 月 25 日に公募の皆さんと具体化に向け鋭意討議を重ねてまいりました。

ここに上田自由塾の産声を上げた瞬間でもありました。そして平成 16 年 3 月母袋市長様、教育委員会教育長様に「生涯学習システムの構築」と題して提言し生涯学習の一つの新しい試みであると高く評価され、生涯学習課と懇話会の委員と合同会議で具体化に向けて討議し基本線が決まり、平成 17 年 4 月 10 日第 1 回生涯学習上田自由塾の開塾式を迎えることになりました。

ここに行政主導の生涯学習システムとは異なり、市民参加の生涯学習システムを歩み始めたことに誇りを覚えております。

平成 18 年には「上田にここに健康塾」と合併し、また新生上田市発足に先駆けて、丸子、武石、真田の皆様にもご参加をいただき、現在は 3000 名余のご賛同をいただいております。

「新聞の役割 - コラムと社説の現場から」

信濃毎日新聞社 論説主幹 丸山貢一様

記念講演丸山様は講演の冒頭に「私は報道の仕事が長く、論説の仕事は一

昨年の秋に松本の報道部長から異動し、そこで初めて関わり、1 年半の経験しかありません。この間に自分が書いたもの、同僚が書いたもの、それから裏の楽屋話も含めて、社説、斜面、コラムがどういう風にして出来上がっていくか、お話しすることで新聞の役割をご理解いただければ

と思います」と語られプロジェクターと豊富な資料を基に熱く語られました。(資料・テープおこしの講演内容あります。)

最後に司会の田中明子朗読講師は「丁寧に詳しくご解説いただきましてありがとうございました。現場にいらっしゃる丸山様はじめ、皆様方は本当に真摯に社会に向き合って、限られた紙面でどう伝えるか、悩みながら報道しているということがよくわかりました。それだけに読者は他人事でなく、自分のこととして受け止めて、そして日々の行動に生かしていくことが、大切なのではないかと思います。貴重なご講演ありがとうございました。」と締めくくられました。



【10年継続講師】

- ・菊地貴美子講師 「お菓子とパンの教室」
- ・柳澤喜美子講師 「なぎなた教室」
- ・山下美恵子講師 「深雪アートフラワー」
- ・渡辺道子講師 「古典絵巻・絵本を読む」
- ・依田行舟講師 「篆刻・刻字教室」
- ・大谷妙子講師 「かご作り教室」
- ・高藤袈裟幸講師 「たのしいフォークダンス」
- ・中村まさ代講師 「手作りパンとスイーツ」
- ・柳沢令子講師 「ヘタでいいヘタがいい絵手紙教室」



【講師と共に10年継続塾生】

「なぎなた教室」

- ・勝野律子
- ・近藤町代
- ・内藤八重
- ・市村きよ

「深雪アートフラワー教室」

- 塩崎洋子
- 柴崎佳子
- 若林とし子



「古典絵巻・絵本を読む」

- ・梅島美枝子
- ・川上てい子
- ・鳥羽典子
- ・西沢美知子
- ・蓮池民子
- ・宮下長子
- ・横山洋子

「篆刻・刻字講座」

- ・倉沢悦子
- ・長岡久子
- ・長尾セツ子

「たのしいフォークダンス」

- ・伊奈しげよ
- ・岡田喜久代
- ・小林信子
- ・小林由紀子
- ・手塚貞子
- ・宮本知子
- ・若林しづ枝

「ヘタでいいヘタがいい絵手紙教室」

- 甲田伊都子
- 中島洋子
- 中曾根幸子
- 西川美喜子
- 安川美代子

【10年継続塾生】

- ・荒井久美子「抹茶を楽しむ会」
- ・池上一巳「ハーモニカで楽しく」
- ・今井文子「抹茶を楽しむ会」
- ・宇津江和子「毛筆による実用書教室」
- ・片山邦江「初めてののかご作り」
- ・北村登美子「健康長寿への元気食講座」
- ・工藤紀子「森のコカリナ」
- ・竹花千江子「初心者のためのフォークギター」
- ・武村美和子「はじめての手芸教室」
- ・手塚雅子「はじめての手芸教室」
- ・徳竹正子「ヘタでいいヘタがいい絵手紙教室」
- ・藤木正枝「ヘタでいいヘタがいい絵手紙教室」
- ・藤沢栄蔵「作曲家が教える男のカラオケ」
- ・水沢祐子「ヘタでいいヘタがいい絵手紙教室」
- ・宮原千恵子「革工芸」

10 年継続講師・塾生表彰

自由塾の規約第41条『本塾の講座を10年以上継続した講師並びに塾生に対し「上田自由塾賞」および記念品を授与する』の規定により、継続講師9名、塾生44名の方々の表彰を行いました。継続塾生には代表して若林とし子様に授与いたしました。

「一年ごとの評価を受け止めて」

古典絵巻・絵本を読む講師 渡辺道子
只今は10年継続ということで、ご褒美を頂戴しましてありがとうございました。

私は、古書を用いて、古典文学を読むということに興味をもってまいりました。古書の存在によって、古典文学は長い年月を経て今日まで伝えられてきた訳ですが、毛筆の手書きですので、とても時間のかかる面倒な読書です。その分楽しさも格別です。

このような古典の読み方を他の方にもお伝えして、その楽しさを共有できたらいいなあとつねづね思っていました。そんな時、上田で新しい形の生涯学習システムを立ち上げるとお聞きしました。その新しい形というのは、「講師を公募して講師が自らの講座を企画立案する」というものでした。

「自ら企画立案する」という画期的なシステムに、さっそく講師募集に応募いたしました。その年は「竹取物語」を読みました。その後は伊勢物語、西行物語、平家物語などを読んでまいりました。

もう一つ、上田自由塾の特徴は、一年単位ということです。講座が一年経った時、次の年も続けると言っただけのこと、講座を評価していただいた結果だと思います。嬉しくもあり、厳しくもある一年に一回の評価です。その評価が次へのエネルギーとなるのです。一年目を評価していただいて二年目が始まり、二年目を評価していただいて三年目が始まる。そのようにして今日10年目を迎えることが出来ました。

続けて受講してくださった方々、毎年新たに加わってくださった方々、本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げ、今年の講座も面白かったと、言っただけのよう頑張っただけです。本日はありがとうございました。



「一步踏み出す勇気と継続する力で！」

なぎなた教室塾生 市村きよ様

記念すべき式典の席に立たせていただいた事、大変嬉しく光栄に思います。

私は定年になりました時、自由になる時間が少し出来たので、自由塾の講座から「なぎなた教室」を選びました。

なぎなたは見たこともやった事ありませんでしたが、日本の伝統文化の武道に少し興味がありましたので、挑戦してみることにしました。それから今日までの間、家族の介護、子供の事、家の事、いろんな問題に直面し、何度も挫折しそうになりました。でも講師の柳澤先生の「継続は力よ」の言葉をずっと信じて、そして下は小学生から、上は私たちまで、他の講座では見られない様な年齢差が非常にある仲間から、時に励まされたり、時々慰められたり、そして若い力をいっぱいいただいて、今日まで頑張り続ける事が出来ました。これから、いろいろな方々がこの数ある講座から自分のやりたい講座を選んで、一步踏み出す勇気と継続する力で、この先10年又その次へと自由塾が続いて欲しいです。



長野県は、昨年平均寿命が日本一になりました。でも健康寿命はまだまだです。この自由塾で頭と体を使って学習する事が、少しでも健康寿命を延ばす事に役立ったら嬉しいです。これからますます高齢社会、私もその中の一人として、元気で色々なことに挑戦していきたいです。



祝 賀 懇 親 会

皆さんの清々しい満足感に満ちた雰囲気は
温かい素敵な場面として心に残っています。

生涯学習推進懇話会副代表 松崎礼子様書簡から

式典もご協力いただき無事終了いたし、ところ変わり東急ホテルにて、草創のころ、朝令暮改の議論を重ねた来賓各位と表彰講師、塾生、現講師の皆様での祝賀会になりました。

上田市教育委員会教育長小山壽一様、平成16年生涯学習推進懇話会会長の杉山博基様のご祝辞、続いて同じく懇話会の副会長松崎礼子様の乾杯の音頭で、和やかな祝宴になりました。

祝賀会半ばにハプニング

金井運営委員長より、10年間自由塾の発展にご尽力いただいた山口塾長に感謝状を、続いて10年継続の講師の皆様よりケーキ、実行委員会からは花束の贈呈がありました。思いがけない皆様のご厚意に対し、山口塾長は感極まり声つまる一場面。感謝の挨拶がありました。



10年の歩みを確認して！！

「市民の生涯学習の機会」を市民の手で

「学ぶことが生きがいならば、教えることにも生きがいがあるはず」と考え講師の公募制を考えました。その結果色々な分野にわたる学習項目が提供され、市民の生涯学習の趣旨が生かされ多くの市民の参加がありました。なんでも学べる魅力あるステージを講師の皆さんによって築かれ講師公募の思想がマッチし市民の要求にこたえて共感を得た結果ではないでしょうか。いつまでも学べる、どんなことでも学べる、「市民の生涯学習の機会」を塾では多様な選択肢を用意して、魅力あるステージを今後も提供することに前向きに考えてまいります。

学習を通じて街づくりに貢献を

自由塾では学習を通じて市民の生きがいを高め、健全な街づくり、人づくりに貢献することであり、希望と理想に燃える素晴らしい街を築くことを大切な理念として講師、塾生の皆さんが取り組み成果を上げている事実があります。より確かな実践をこれからも展開してまいります。

学ぼうとする市民を 排除することなく

幼児から高齢者まで、障がい者の方、外国籍の方、リハビリを求める方々などすべての人を排除することなく受け入れる自由塾であり続けてまいります。苦しくとも、学ぼうとする市民を、また排除することなくともに学び合ってまいります。

平成26年度「上田自由塾」事業計画

H26 5・11・提出

月	日（曜日）	事業内容	会場・その他
26年 4	12日（土）	第10回記念開塾式 祝賀会	上田中央公民館
	18日（金）	会計監査	事務局
	22日（火）	運営委員会①	事務局
	29日（火）～5/6日（火）	事務局休業	
5	11日（日）	総会	上田中央公民館（第1会議室）
	18日（日）	講師研修会	上田中央公民館（大会議室）
	中 旬	夏季講座講師募集	
6	初 旬	運営委員会②	事務局
	15日（日）	幹事会	上田中央公民館（大会議室）
7	1日（火）	「自由塾だより」発行（第 11 号）	各公共施設
	5日（土）	夏季講座受講生募集	
	26日（土）～8/11日（月）	夏季講座実施	
8	初 旬	公開講座講師募集	
	9日（土）～17日（日）	事務局休業	
9	19日（金）	公開講座受講生募集	上田中央公民館
	中 旬	運営委員会③	事務局
	下 旬	冬季講座講師募集	事務局
10	1日（水）	「自由塾だより」発行（第 12 号）	各公共施設 上田中央公民館 事務局 上田中央公民館
	初旬 ～ 11月中旬	公開講座実施	
	中 旬	展示会実行委員会①	
	中 旬	会計監査	
11	下旬	分野別講師会	事務局 上田中央公民館 各公共施設
	上 旬	運営委員会④	
	中 旬	成果発表実行委員会①	
	中 旬	冬季講座受講生募集（各講座開始 1 週間前締切）	
12	22日（土）～12/23 日（火）	冬季講座実施	上田中央公民館
	1 日（月）～27.1/5 日（月）	27年度講師募集	
	中 旬	展示会実行委員会②	
27年 1	27日（土）～27.1/4日（日）	事務局休業	「イオン」上田店 2F通路 「イオン」上田店 2F通路 事務局
	17日（土）～18日（日）	ふれあい展示会 1回目	
	24日（土）～25日（日）	ふれあい展示会 2回目	
2	下旬	運営委員会⑤	中央公民館 "
	1 日（日）	27年度応募講師説明会	
	"	成果発表実行委員会② ※時刻をずらして行う	
3	16日（月）～3/6日（金）	27年度塾生募集	上田文化センター 事務局 中央公民館（大会議室） 中央公民館（大会議室）
	1 日（日）	成果発表会	
	9 日（月）	運営委員会⑥	
	22 日（日）	閉塾式	
	"	27年度成立講師オリエンテーション（式に引き続き）	

☆平成27年度 開塾式： 4月5日（日） 上田市文化センター

平成26年 上田自由塾役員名簿

役 職 名			氏 名
塾 長			山口 忠久
副 塾 長			遠藤 哲夫
運 営 委 員 会	講師会 代表	第1分野代表運営委員	笠井 篤
		第2分野代表運営委員	五十嵐 知子
		第3分野代表運営委員	目黒 正子
		第4分野代表運営委員	金井 善男
	幹事会 代表	運営委員	深町 文子
			藤松 則子
	塾長推薦	運営委員	山崎 久生
			赤地 真一
			入谷 徳子
講師会		第1分野 副代表	花岡 民子
		第2分野 副代表	小胎 紀子
		第3分野 副代表	関 延子
		第4分野 副代表	中嶋 研二
幹 事 会		第1分野 代表	綿貫 富子
		第2分野 代表	深町 文子
		第3分野 代表	藤松 則子
		第4分野 代表	有賀 酉夫
代 議 員		第1分野	窪田 英治
			清水 邦雄
			渡辺 道子
			篠岡 恒悦
		第2分野	桜井 道子
			田中 博子
			武田 美恵子
			大原 あさみ
		第3分野	矢吹 ヒデ子
			中曽根 美子
			西澤 満智子
			片桐 眞次郎
		第4分野	青木 礼子
			小泉 美智子
			宮下 知穂子
			紀野 活美
監 事		長谷川博智	
		古平三枝子	
事 務 局		内海 真由美	
		前川 恵子	
		塚田 恵子	

報告

4月12日 第10回記念開塾式

- ・10年継続講師表彰
- ・10年継続塾生表彰
- ・講演会
- ・祝賀会

5月11日 総会（代議員会）

- ・25年度事業報告
- ・25年度決算報告・監査報告承認
- ・26年度事業計画、予算案承認
- ・26年度役員承認

5月18日 講師研修会

- ・総会の報告
- ・分野別講師会

6月15日 幹事会

- ・分野別幹事会
- ・幹事の活動の実際
- ・講座実施上の問題点
- ・自由塾への提言

予告

夏季講座開催

7月25日～8月11日まで自由塾講師による夏季講座が公民館などの公共施設にて開催されます。

- ・料理講座・製作講座・講演講座・実験講座・生け花講座・音楽講座・英語通訳講座など、子供さんお孫さんと一緒にご参加ください。講師の前向きな企画により、35講座が展開されます。